

# 静岡市環境大学2019 講座報告 2日目

## 演題：循環型社会形成に関する法体系と環境CSR

(一社) 静岡県環境資源協会 専務理事 平井一之様

場所：しずもーる沼上3F研修室

時間：10：45～12：00



## 講義のポイント

要点1：温暖化対策・ごみ減量化・生物多様性の確保

要点2：環境配慮型エネルギーの推進⇒再生可能エネルギーの普及

- 低酸素型社会の構築に向けた「脱化石燃料の推進」と「エネルギーの確保」をどのように舵取りしていくか。
- 求められる「CO2削減に代表される環境配慮と、電力コストの低減を両立する仕組み⇒省エネ・もったいないの意識が原点

要点3：廃棄物処理問題の実態と、ごみ減量化への対応（4Rの推進）

- 一般廃棄物処理経費の高騰と、財政負担の増大。
- 産業廃棄物処理施設の不足と、不法投棄問題。（マイクロプラスチック問題）
- 市民に求められる、循環型社会形成に対する、積極的な行動と対応。
- 原点は「もったいない」の精神から。

要点4：循環型社会形成推進基本法の制定と、拡大生産者責任の明確化

要点5：求められる市民の環境意識の向上

## 受講生の感想

◆ 行政・企業・地域住民等様々な目線で環境について考えていくことで、行政—企業—市民の協働による環境への取り組みに繋がる糸口が見い出せそうだと感じた。行政—企業—市民の利益を考える必要性があると感じた。とてもわかりやすく勉強になりました。ありがとうございます。

◆ 建築を学んでいて、建てたその後の事もよく考えて設計等をしていかないといけないなと思った。これからの社会をよりよくするために必要不可欠な知識だと思った。